

2022年9月15日
株式会社日本政策金融公庫

「食」の環境配慮は「過剰な包装・サービスの見直し」に期待
＜ 消費者動向調査（令和4年7月調査）特別調査：環境に配慮した農産物・食品 ＞

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、「消費者動向調査（令和4年7月）」を実施し、特別調査として、環境に配慮した農産物・食品について調査しました。

※ 本調査における「環境に配慮した農産物・食品」とは、農薬や化学肥料の使用を控えて生産された農産物や、有機栽培で生産された農産物、過剰包装ではなくごみが少ない・輸送距離が短い商品など、環境への負荷をなるべく低減した農産物・食品を指します。

調査結果のポイントは以下の通りです。

○農薬や化学肥料の使用を控えて栽培された農産物の購入“気にかけている”約4割

農産物購入時、農薬や化学肥料の使用を控えて栽培された農産物かどうかを「いつも気にかけている」（6.6%）、「ある程度、気にかけている」（30.8%）を合わせた“気にかけている”とする回答は37.4%となった。“気にかけている”とする回答は60代は44.0%、70代は59.4%となった。

“気にかけている”と回答した方に、その理由について聞いたところ、「そう思う」と回答した方の割合は「食べる人の健康に配慮しているから」（70.7%）、「生産者の思いや考えに共感しているから」（48.5%）、「動植物の生態系への影響が少ないから」（44.8%）の順となった。

○環境に配慮した農産物・食品「一般の商品と同等の価格なら購入」が5割

環境に配慮した農産物・食品の購入についての考えは、「一般の商品と同等の価格なら購入したい」（50.3%）が最も高くなった。60～70代は「時々であれば少し割高でも購入したい」が4割を上回った。

○「食」の環境配慮は「過剰な包装・サービスの見直し」に期待

環境に配慮した農産物・食品の購入促進のために、消費者が生産者や食品企業等に期待する取組みについて聞いたところ、「大いに期待する」「やや期待する」を合わせた割合は「過剰な包装・サービスを行わない」（77.3%）、「量り売りでの販売や規格外の農産物・商品も積極的に提供する」（71.4%）で7割を上回った。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

消費者動向調査（令和4年7月） ～環境に配慮した農産物・食品について～

※今回調査における「環境に配慮した農産物・食品」とは、農薬や化学肥料の使用を控えて生産された農産物や、有機栽培で生産された農産物、過剰包装ではなくごみが少ない・輸送距離が短い商品など、環境への負荷をなるべく低減した農産物・食品を指します。

～目次～

- I .農産物購入時、農薬や化学肥料の使用を控えて栽培された農産物かどうかを気にかけるか P 3
- II .農産物購入時、農薬や化学肥料の使用を控えて栽培された農産物かどうかを気にしている理由..... P 4
- III .加工食品購入時、環境に配慮した加工食品かどうかを気にかけるか P 5
- IV .加工食品購入時、環境に配慮している加工食品かどうかを気にしている理由..... P 6
- V .環境に配慮した農産物・食品の購入についての考え..... P 7
- VI .環境に配慮した農産物・食品の購入促進のために、消費者が生産者や食品企業等に期待する取組み..... P 8

○調査概要

- 調査時期: 令和4年7月
- 調査方法: インターネット調査
- 調査対象: 全国の20歳代～70歳代の男女2,000人(男女各1,000人)
※インターネット調査であるため、回答者はインターネット利用者に限られる。

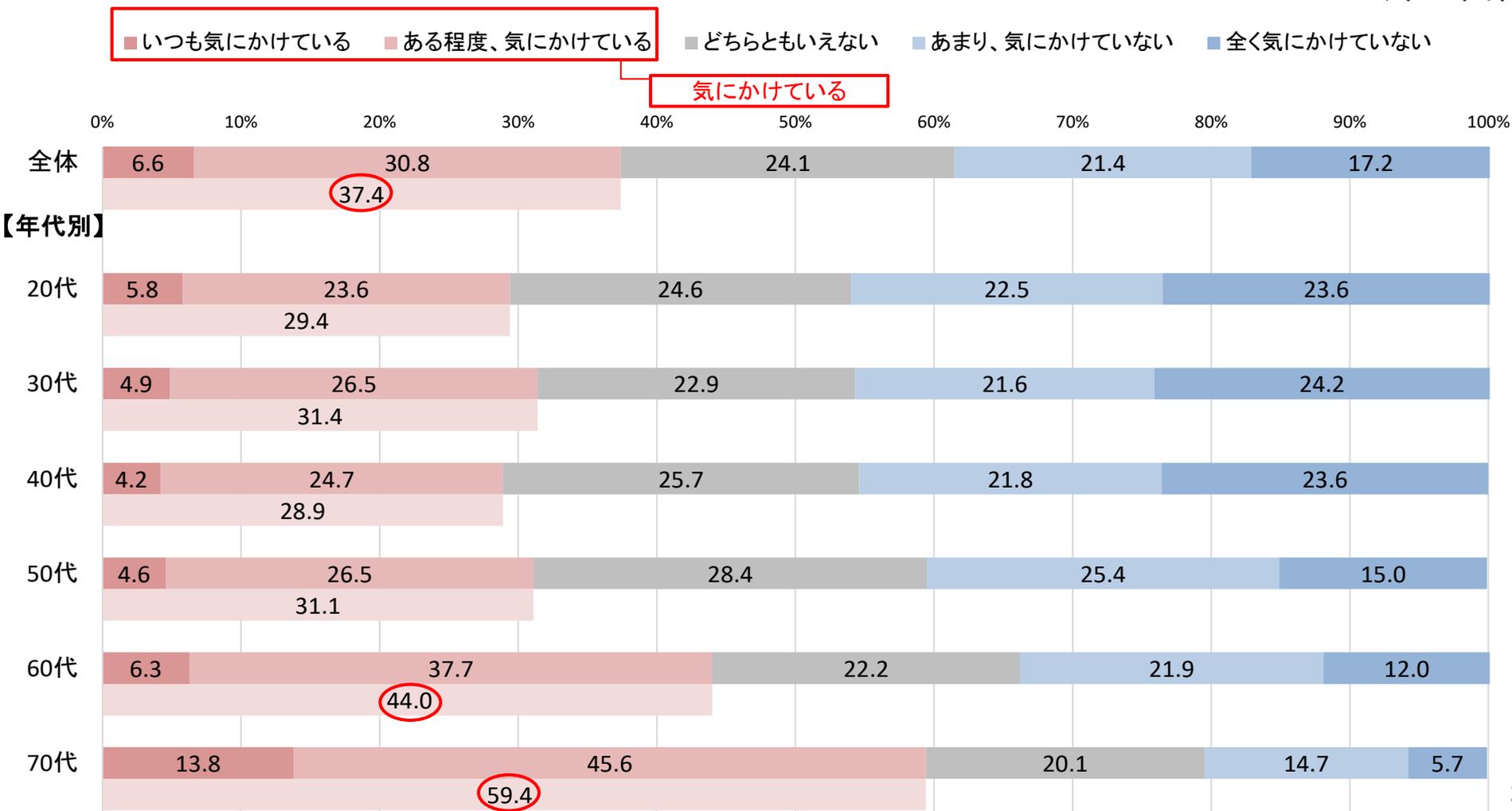
<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部(担当: 赤羽根、米山) TEL: 03-3270-5585
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

I. 農産物購入時、農薬や化学肥料の使用を控えて栽培された農産物かどうかを気にしているか

- ・農産物購入時、農薬や化学肥料の使用を控えて栽培された農産物かどうかを「いつも気にかけている」(6.6%)、「ある程度、気にかけている」(30.8%)を合わせた“気にかけている”とする回答は37.4%となった。
- ・年代別では、“気にかけている”とする回答が60代は44.0%、70代は59.4%となった。

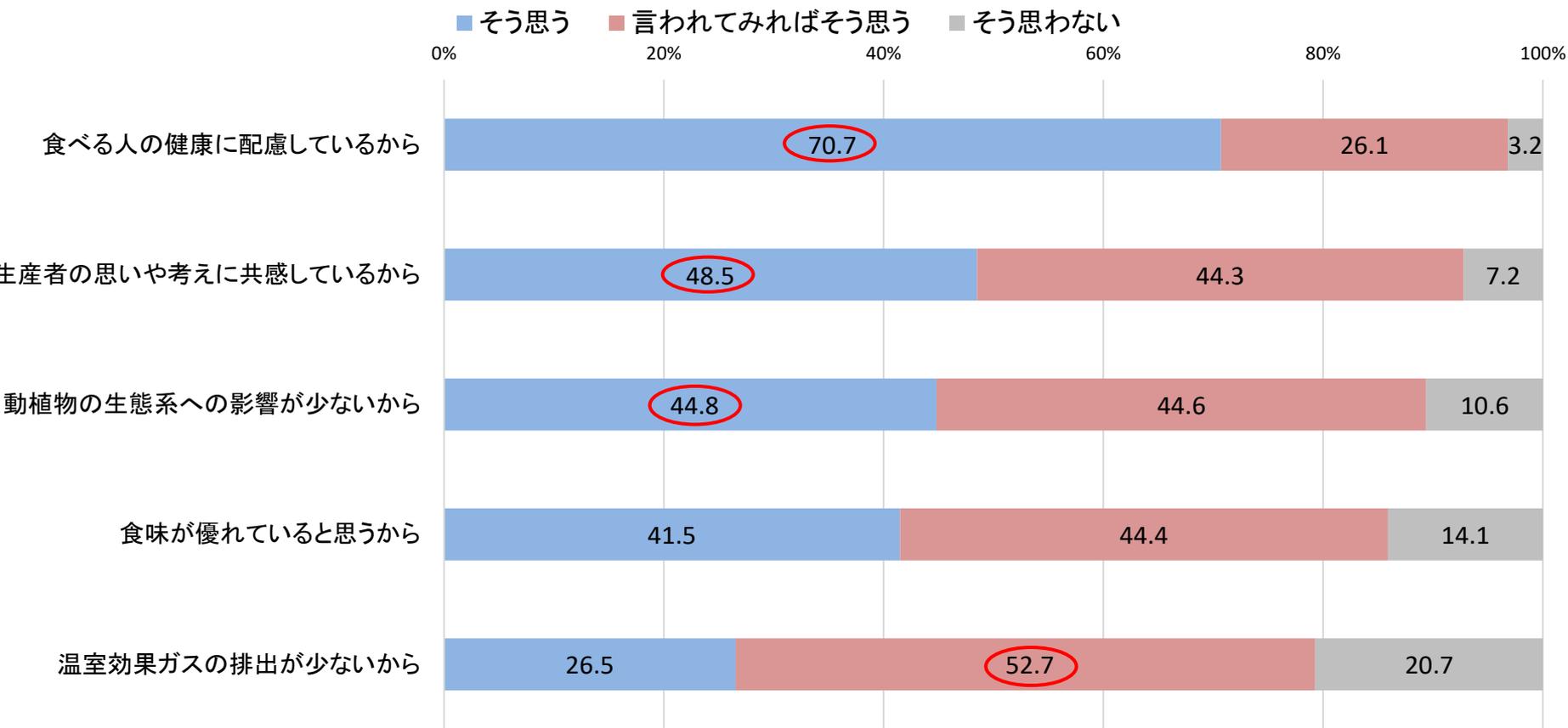
(単一回答)



Ⅱ.農産物購入時、農薬や化学肥料の使用を控えて栽培された農産物かどうかを気にしている理由

- ・農産物購入時、農薬や化学肥料の使用を控えて栽培された農産物かどうかを“気にしている”と回答した方に、その理由について聞いたところ、「そう思う」と回答した方の割合は「食べる人の健康に配慮しているから」(70.7%)、「生産者の思いや考えに共感しているから」(48.5%)、「動植物の生態系への影響が少ないから」(44.8%)の順となった。
- ・「温室効果ガスの排出量が少ないから」は「言われてみればそう思う」と回答した方の割合が5割となった。

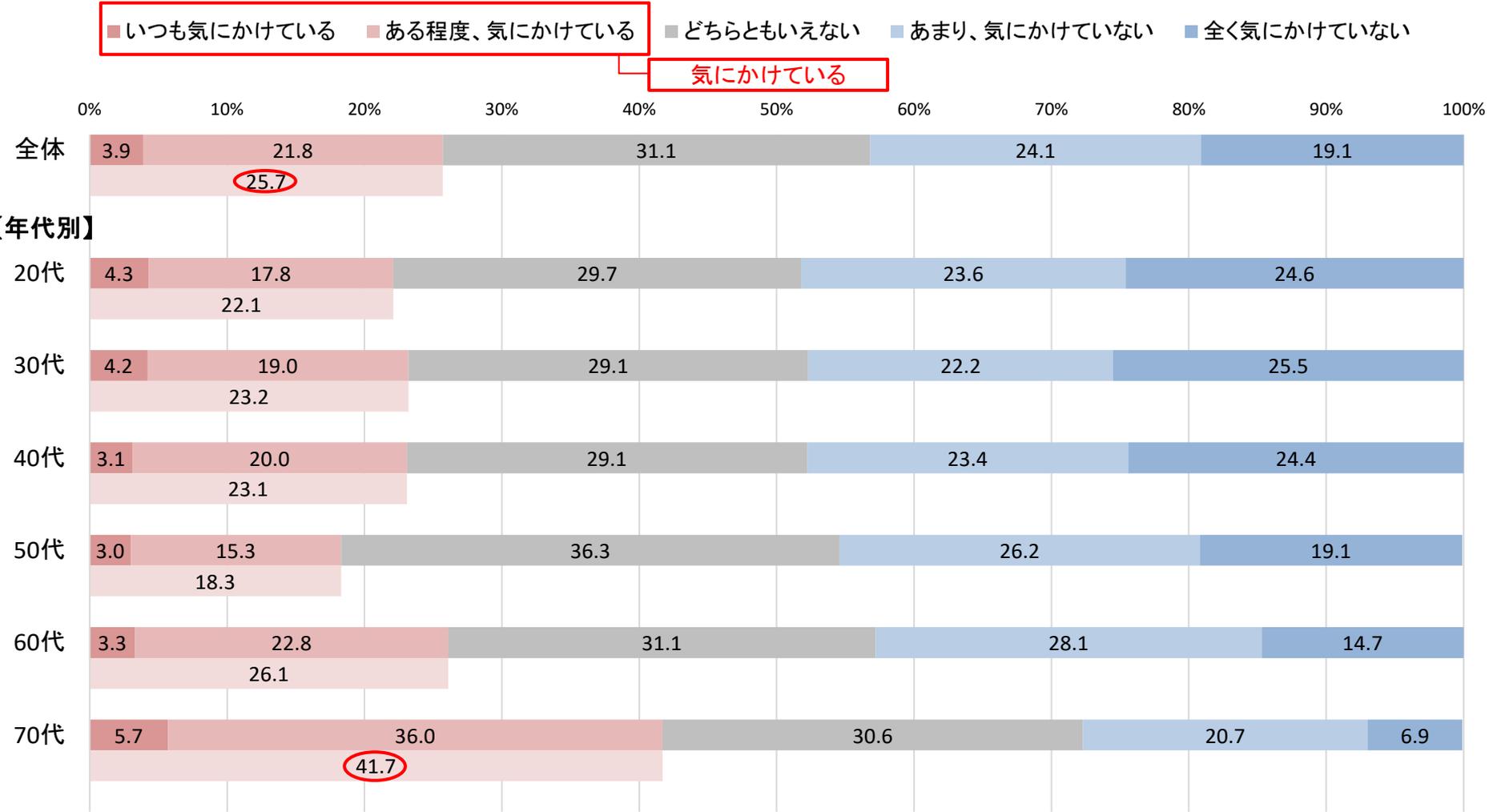
(各項目単一回答/「いつも気にしている」「ある程度、気にしている」と回答した方)



Ⅲ. 加工食品購入時、環境に配慮した加工食品かどうかを気にしているか

- 加工食品購入時、環境に配慮した加工食品かどうかを“気にしている”とする回答は25.7%となった。
- 年代別では、“気にしている”とする回答が70代(41.7%)で他の年代と比べて特に高くなった。

(単一回答)



IV.加工食品購入時、環境に配慮している加工食品かどうかを気にしている理由

・加工食品購入時、環境に配慮している加工食品かどうかを“気にしている”と回答した方に、その理由ついて聞いたところ、「食品ロスの削減に貢献しているから」、「環境に配慮した原料を使用しているから」という理由で「そう思う」と回答した方の割合が5割を上回った。

(各項目単一回答/「いつも気にしている」「ある程度、気にしている」と回答した方)

■ そう思う ■ 言われてみればそう思う ■ そう思わない

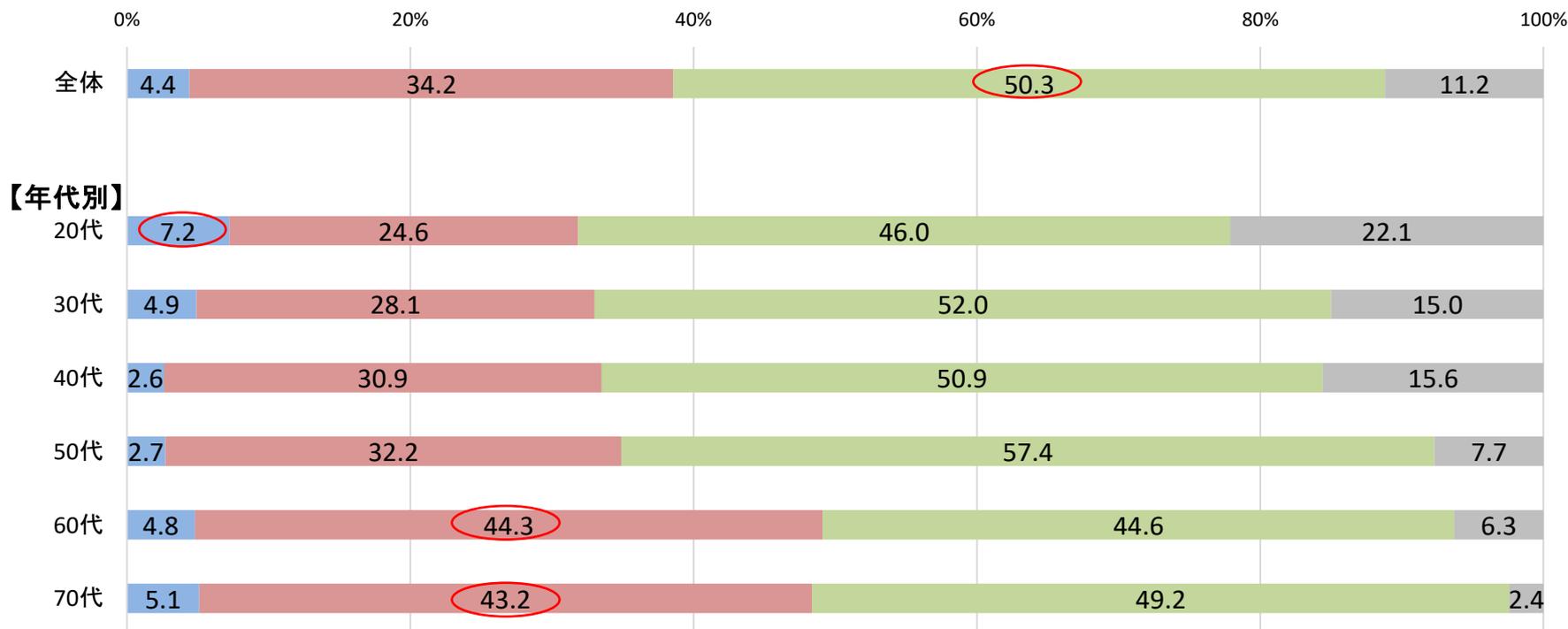


V. 環境に配慮した農産物・食品の購入についての考え

- ・環境に配慮した農産物・食品の購入についての考えは、「一般の商品と同等の価格なら購入したい」(50.3%)が最も高くなった。
- ・60～70代は「時々であれば少し割高でも購入したい」が4割を上回った。
- ・20代は「価格を気にせず購入したい」(7.2%)が他の年代よりも高い回答割合となった。

(単一回答)

■ 価格は気にせず購入したい ■ 時々であれば少し割高でも購入したい ■ 一般の商品と同等の価格なら購入したい ■ 価格に関わらず購入しない



VI. 環境に配慮した農産物・食品の購入促進のために、消費者が生産者や食品企業等に期待する取組み

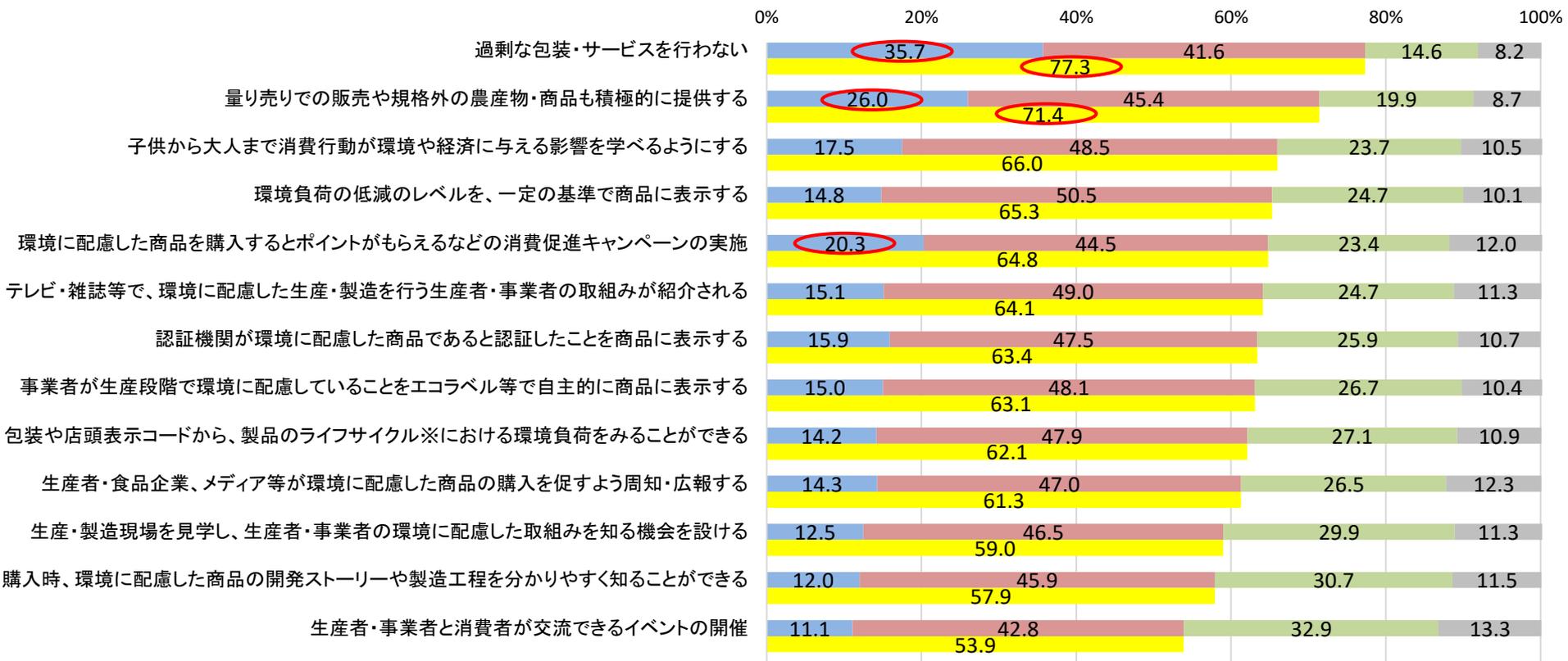
・環境に配慮した農産物・食品の購入促進のために、消費者が生産者や食品企業等に期待する取組みについて聞いたところ、「大いに期待する」「やや期待する」を合わせた割合は「過剰な包装・サービスを行わない」(77.3%)、「量り売りでの販売や規格外の農産物・商品も積極的に提供する」(71.4%)で7割を上回った。

・「大いに期待する」の割合は「過剰な包装・サービスを行わない」(35.7%)、「量り売りでの販売や規格外の農産物・商品も積極的に提供する」(26.0%)、「環境に配慮した商品を購入するとポイントがもらえるなどの消費促進キャンペーンの実施」(20.3%)の順で高くなった。

■ 大いに期待する ■ やや期待する ■ あまり期待しない ■ 全く期待しない

期待する

(各項目単一回答)



※「製品のライフサイクル」とは、その製品の生産段階(原料調達・生産)→流通段階→消費段階(使用・維持管理、廃棄・リサイクル)までの過程を指します。 8